

2008-09年度
R.I. テーマ



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Club Presidents and Secretaries
R.I. District 2550 (Tochigi.Japan)

ガバナー 羽 石 光 臣

2008-09年度 ガバナーの目標 「子供たちに夢を」その夢をかたちに

「夕やけ」

安達広樹(宇都宮上河内中央小)
文星芸大子ども芸術祭・文星賞



今月のガバナーズ・コラム 地 域 性 P2

「ロータリーは議論でなく、実践であります。教えるものではなく示すものだとも言われます。ロータリーは頭で考えず、体で覚えるのだとも言います。」
「人に強制するものでもなく、強制されるものでもありません。自ら進んで行うことで尊さがあるのです。」

(D2750 黒澤張三 PG)

2月のロータリーレート

米ドル = 88円

- 目 次
- P2 羽石ガバナーメッセージ
 - P3 よねやま雑感
 - P4 世界理解月間に因んで
 - P6 第1グループ IM実施報告書
 - P7 平成20年度キャリア教育推進フォーラム報告
 - P8 公式訪問だより
 - P14 地区大会のご案内
 - P15 米山功労者・ロータリー財団表彰者一覧
 - P16 ハイライトよねやま
 - P18 新入会員紹介・訃報
 - P19 文庫通信・お知らせ
 - P20 会員増強・出席報告



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1-1-6 財団法人 栃木県青年会館 コンセーレ4階
TEL 028-611-3808 FAX 028-611-3809
<http://www.rid2550.jp> E-mail: d2550@silk.ocn.ne.jp

08
2009-2



地域性

国際ロータリー第2550地区
2008-2009年度ガバナー

羽石 光臣（宇都宮東 RO）

節分は今年の邪気を祓う行事で、その代表が「豆まき」です。豆をまく時に「鬼は外」と言わない所もあります。

福島県の二本松地方は、二本松藩の殿様が丹羽氏だったので、丹羽様に敬語の“お”を付けると「お丹羽様」で「お丹羽様は外」になってしまいますから、「鬼は外」とは言わないか、あるいは「鬼外」と「ワ」の音を抜かし、「鬼は内、福は内」。恐れ入谷の鬼子母神で知られる、東京都台東区の鬼子母神では「福は内、悪魔外」で「鬼は外」とは言いません。雑司谷の鬼子母神の方では、「鬼は内、福は内」です。奈良市中院町の元興寺には、元興神という鬼がいて悪者を退治すると言い伝えがあることから「鬼は内、福は内」です。奈良県吉野山の蔵王堂、鬼を集めてお経の力で改心させるので、「福は内、鬼も内」です。

群馬県鬼石町、昔鬼が投げた石で出来た町と言われており、鬼は町の守り神になっています。そこで近年では、全国から追い出された鬼の安住の地をうたっており、「福は内、鬼は内」。佐渡両津の山本家、昔田植えが暴風雨に遭った時、鬼が助けてくれたという伝説があるため「福は内、鬼も内」。宮城県村田町では「鬼は内、福も内」で、渡辺綱がこの地で伯母に化けた鬼に腕を取り返され、鬼が逃げってしまったので、鬼が逃げないように「鬼は内」になりました。熊野本宮宮司の九鬼家、九鬼一族の本拠地ですが、「おに」を「かみ」と読むので、ここでは「福は内、カミは内」と唱えます。埼玉県の武蔵嵐山の鬼鎮神社は、平安末期に畠山重忠の館の鬼門を守るために作られた神社で、鬼が御祭神であり、鬼が邪気から人々を守ってくれるということになっており、江戸時代頃から鬼が豆をまいて厄払いをするようになり、口上は「鬼は内、福も内、悪魔外」です。川崎市の千蔵寺、ここも本尊が厄神鬼王という鬼面の神様なので「鬼

は内」と鬼を暗くした堂内に呼び込んで、住職が鬼たちに説教をして、悪い鬼は改心させ社会復帰させます。愛知の大須観音は「福は内」だけ、鬼の面が寺宝なので、「鬼は外」は唱えません。亀戸天神は「鬼は外」だけ。成田山東勝寺、日光山輪王寺では、「福は内」だけです。

ロータリーの活動も地域の歴史、地域性やクラブの置かれた立場を考慮して、独自のクラブ運営で地元地域に密着することが大切なことであると思います。

クラブを訪問した際に受けた質問に「他のクラブではどのような活動をしているのか知りたい。」という内容がありました。ロータリー財団委員会には、地区財団活動資金（DDF）の活用一覧表、国際財団活用資金（WF）を活用したマッチング・グラントの実績表があり、国際奉仕委員会はWCSの活動を把握しております。森年度からスタートします、D 2550地区組織からも各クラブへの支援を致します。尚、新設のクラブ・プログラム委員会は卓話者のリストにより各クラブの支援を検討しております。他のクラブの奉仕活動を参考にすることは必要な事ですが、地域社会の奉仕は、自分が住み、生活の根拠として職業をさせてもらっている、その町へ、その地区への報恩でありますし、一緒に住む人達への思いやりでもあります。その地域と遊離しないように、自分達で得られる限りの情報を集めて地域社会の真のニーズを探す事は、自分の職業において、顧客満足度向上のためにお客様のニーズを常に探し求めそれを満たして行く事と同じであると思います。各クラブは地元地域が求める奉仕活動が出来るように、自分のクラブの規模にあった組織の見直しをして、楽しみながら親睦を深めながら奉仕活動をして行く事が楽しいクラブにつながる事と思います。



よねやま雑感

元R理事

(財)ロータリー米山記念奨学会理事長

板橋 敏雄 (足利東 RC)

これからの米山学友会の大きな世界平和への貢献に期待します。

先月号で、12月12日～14日にかけて台湾扶輪米山会出席の報告を申し上げましたが、台湾で台中に誕生した2番目の台中文心RCの元気の良い例会の模様をお伝えしまして、紙面が足りなくなりましたので、今月は、台湾扶輪米山会総会の要点をご報告いたします。

先ず会場は昨年と同じ台北市の中心部に位置する徐重仁さんの経営する統一超商会社の15階建ての本社ビルで開催されました。徐さんは、1976-77年度の米山学友で早稲田大学商学研究所を卒業され、帰国後、経済界で大成功され、現在セブンイレブン、クロネコヤマトやスターバックス等々の総代理店をなさっています。そして台北市に米山学友中心の東海RCを設立初代会長になられた方です。東海RCは、ホテル日航台北で毎週木曜日12時30分より開催する例会の公式言語は日本語です。是非皆様も訪台の時にはメークなさると良いと思います。

さて、扶輪米山会員大会は、13日14:00～17:00にて開催されました。出席者は、台湾全土より参加され、学友の出席者は150名に達しました。今年度の阮理事長のご挨拶と来賓紹介に続いて、私も理事長としてご挨拶申し上げました。何よりも嬉しかったのは、開会前、夫々の自己紹介の時、全ての学友の方が、出身大学と共に世話クラブの名前を挙げられたことです。この事は、10年以上前の方々も同じでした。皆様の心の中に、世話クラブやカウンセラーの方々の絆がしっかりと残っている事を証明してくれました。この事を帰国したら私は、米山奨学会を大事に思う多くのロータリアンにお伝えしたいと思いますと申し上げました。

大会では、基調講演として、前故宮博物院館長

の林蔓麗様が、スライドを用いて、60万点ある宝物の中から、何点か選んで、それを近代的なアニメと組み合わせて大変に興味深く見せて下さいました。林様は仰いました。「此処にしかない貴重なものを現代から次世代の人にも理解して頂く為にこの様な企画をして見ました」と。大胆な企画で、さすが米山学友だなと感じました。

次に最近の日台関係というテーマで、交流協会駐台代表の齊藤正樹氏が、もっと日本への留学生を増やすことを学友会の皆さんに御願いして居りました。どうもアメリカへのシフトがあるようで御座います。この辺は台湾学友会の力の発揮するところと感じました。また同時に台湾学友会の資金で、台湾から日本への奨学生を1名分用意し目下選考中との事でございました。その様に米山の拡大が考えられる事は嬉しい限りです。

また、中国に於いても、前回ご報告しました北京の姫軍(ジジュン)さんから、朗報が届きました。彼が、北京で活躍している米山学友にメールで呼び掛けましたところ、非政治的団体としての同窓会的な集まりを持つ事が出来る様で、すでに40名くらいの米山学友会が誕生しそうなお話でした。3月頃を目指して居られる様子ですので、その席には私も出席したいと思っています。

今、アメリカに端を発した世界同時不況の中で、国内での貯蓄が投資を上回る貯蓄余剰の代表的な国は日本と中国、一部のアジア諸国であることを思う時、これからは、アメリカ一辺倒ではなく、資源・環境(脱石油、新エネルギー)健康(医療革新、遺伝子工学)交通等の分野でアジアと日本が連携する時代が想定される時、この米山学友の人脈は大きな世界平和への貢献が期待されると確信いたします。日本のロータリーが世界に誇る(財)ロータリー米山記念奨学会の発展を祈念するばかりであります。



世界理解月間に因んで

国際奉仕委員長

飯村 慎 一（宇都宮 90RO）

国際奉仕

1921年、エディンバラ国際大会で、国際奉仕をロータリーの綱領の中に採り入れました。その時、創立者ポール・ハリスは「昨日まで、われわれのロータリーは子供でしたが、今日、強さと勢いとともに、世界に踏み出します」と宣言しました。以来 80数年、国際奉仕はロータリーの最も活発な、そして恒久的なプログラムとして役目を果たし続けてまいりました。100年の歴史を持つロータリーの強さの秘密は、会員が超我の精神で、国境を乗り越えて全世界の人類に奉仕することにあります。そしてロータリーは、世界の平和は国際理解と親善に大きく依存しているということを深く認識し、数

多くの国際プロジェクトを実施してまいりました。その代表は「世界社会奉仕（WCS）」です。李 R I 会長は、子供達の「夢をかたちに」していただきたいと願い、「保健と飢餓追放、水、識字率向上」のプロジェクトに取り組んで欲しいと宣言されています。ロータリーは、世界中のすべてのニーズを満たすということはできませんが、ロータリーの取り組むプロジェクトは、どんなに小さなものであっても、国際的な相互理解を築き、世界平和への道しるべとなる可能性が秘められています。この「世界理解月間」を機に、世界社会奉仕（WCS）への理解を深めていただければありがたく存じます。





WCSへのアプローチ（Project LINK）

WCSプロジェクトは、世界の多くの国から要望が出ており、インターネットの Project LINK（www.rotary.org/projectlink）で検索できます。これは、オンラインで検索可能なデータベースで、資金、ボランティア、寄贈物資などの情報が日本語で掲載されています（第 2550地区のホームページからの検索も可能）。

最新の「Project LINK 一覧」に載っているプロジェクトを検索してみると、合計 237件でその内訳は、アフリカ（28件）、東アジア及び太平洋地域（80件）、南アジア（129件）です。第 1位はインド（84件）、第 2位がフィリピン（53件）で、内容は以下のようになっております。

（単位：プロジェクト件数）

	水	識字率	飢餓	医療	教育	中古コンピュータ	その他
インド（84）	12	10	10	10	25	6	20
フィリピン（53）	7	4	5	8	16	6	7

その他のプロジェクトは、トイレ、障害者支援、図書館、救急車、手押し車、車椅子、託児所、環境保護、小型バスなど多岐にわたっています。これらの国は英語圏で、コミュニケーションが取りやすいと思いますので、各クラブの積極的な取り組みを歓迎致します。

WCSの事例紹介（足利東 RC（中谷会長）のケース）

足利東 RCは 2008— 2009年度の WCS事業として以下の様な活動を実施致しました。

- ・ 年月日：2008年 11月 21日（金）～ 25日（火）
- ・ 参加者：日本側— 22名、フィリピン側— 189名
- ・ 活動内容
 - (回)医療奉仕活動 (月)社会復帰自立支援プログラム (火)車椅子寄贈 (水)少年野球チーム指導
 - (木)図書館維持費寄贈 (金)高血圧&糖尿病治療プログラム

足利東 RCは、WCS活動を 2000年から単独でスタートし、今日まで継続で実施しており、長年の社会復帰自立支援プログラムの活動は、フィリピン国から最優秀奉仕協力団体に選出されました。正に、WCSモデルクラブです。

以上、世界理解期間に因み、ごあいさつと、各クラブの国際奉仕活動が益々盛んになりますように心からご祈念申し上げます。





第1グループ IM実施報告書

第1グループガバナー補佐

塩川 美好（西那須野 RO）

会場までの「湯の香ライン」の紅葉も見ごろを過ぎたが、紅葉のメッカといわれている塩原の地において、2008～09年度、第1グループ第19回IMが西那須野ロータリークラブをホストとして、池嶋実行委員長、氷見会長を中心に準備が進められ、ホスト会員の協力、また、第1グループロータリアンの多くの参加を得られ、盛会裡に終了できたことに感謝とお礼を申し上げます。

今回のIMは、特にテーマは設けず親睦・交流に重点をおきました。第1グループのおかれている環境が「小クラブ、観光地等」でそれぞれ特性があり、運営面についても若干差異がみられます。そのため情報交換を主に考えた会合となりました。

前半（第1部）は、八王子南ロータリークラブ、神山晴雄会員をお招きし、「高校生のインターンシップについて」と題して講演を約1時間戴き、その後30分ほど質疑、就業体験について活発な議論が展開されました。

後半（第2部）は、会場を替え懇親会、今回は親睦・交流に重点をおき、席も7クラブの会員が各テーブル毎に着くように配慮しました。各テーブル毎にそれぞれクラブの情報を提供しあい、充実した情報交換が図られたと思います。約2時間、

和気藹々のなかで和やかにクラブ間、会員相互の交流が図られ、クラブ活性化の一助になれば幸いです。

終わってみれば、今回は知事選の投票日であったこと、その他諸々の出来事があり、参加者が予定より若干少なかったことなど、今後の課題でもあるが、IMについての当初の目的はほぼ達成されたものと思います。皆様方のご支援ご協力ありがとうございました。





平成 20年度 キャリア教育推進フォーラム報告

地区青少年育成委員会委員長

伊澤 勝彦 (しもつけ RO)

去る 11月 22日（土）文部科学省において、文部科学省・栃木県教育委員会主催の「平成 20年度キャリア教育推進フォーラム」が開催され、宇都宮陽南ロータリークラブの片柳 工会員（飛龍建設株式会社 代表取締役）による「職場体験の受け入れ～活動の実際と生徒の変容～」という事例発表がされました。以下、その報告を兼ねて、当日の発表の模様を皆様にお伝え致します。

「職場体験をなぜ引き受けたのか、それは学校からの要請ではなく、知人の子供から『今度職場体験をするけど・・・行っても良い？』との事、丁度時期を同じくして、ロータリークラブでも青少年育成プログラムができ、職場体験受け皿企業の募集や豊富な経験に基づく、多岐にわたる職種の代表が出前講座の要請を県教育委員会へご提案したところでした。私もロータリーの一員としてこの問題に取り組もうと思い、それからが大変。担当される先生との事前打ち合わせや受け入れの準備で、戸惑いの中、平成 12年正式に受け入れを開始、いよいよ受け入れ当日、私や担当者の心配をよそに子供たちは予定時間より少々早く出社してきました。「おはよう」とこちらから挨拶をしましたが、初対面のため、恥じらいを感じているようで、元気よく挨拶をしなさいと担当者から言われておりました。

午後より建築現場を視察して回り、行く先々で、職人さんとのコミュニケーションを図るため、挨拶と自己紹介をさせました。が、そこでも声が小さく担当者から注意を受けていました。どんな時でも、挨拶ができなければ職人さんから声はかけてもらえないし、仕事も教えてもらえないよ、と現場の規律・師匠と弟子の関係を教えられ、緊張感を子供達は感じたようでした。

夕刻帰社したのち、一日目の体験報告をさせ、その中で挨拶の大切さを学んだようです。

2日目は、皆が申し合わせたように元気に挨拶をしながら出社してきました。現場の雰囲気も明るくなり、職人さん達も指導に熱が入り、先人としてのプライドを持ったようです。昼食は職人さんと一緒に各自お弁当を食べながら、日常のことや、仕事はつらくないですとか、趣味はとか、いろいろと話し合っていました。3日目 4日目と現場に出てから、子供たちは建築に携わる職人さんたちの苦労を少しずつ理解してきたようで、質問内容や姿勢も立派になってきたようです。最後に「5日間を通して」と題し作文を書かせ、それぞれに建築の捉え方は違いますが、初めての体験をつづってくれました。最後に感謝の言葉を忘れずに書かれていたことが、職場体験をさせて有意義であったことを確信しました。

来年には職場体験をふまえた子供たちの中から、大学卒業後建築業界へ就職内定されるということで、報告のため来社して下さいました。職場体験が実施できました事を喜びとし、ロータリークラブはいつでも手を差し伸べる用意があることを申し上げ、企業報告と致します。」

この後、片柳会員は「発達の段階に応じたキャリア教育の推進～ひととの出会い、社会とのふれあい、未来とのつながり～」のシンポジウムのシンポジストも務められ、ご自身の体験に基づく意見交換をされました。

私達の活動がまた一つ形となったことを嬉しく思います。



公式訪問だより

しもつけロータリークラブ 公式訪問

- 9月3日（水曜日）
- 会場：石橋商工会館

第4グループガバナー補佐
上野徳浩



晴天で気温 3℃と残暑の当日、第4グループ最初のガバナー公式訪問が、石橋商工会館に羽石光臣ガバナーをお迎えして開催されました。13:30分～15:00分の間会長、幹事、役員、理事、ガバナー随員、ガバナー補佐事務局の皆様が集まりました。懇談会場は茶・華道教授の高木敏子パスト会長、公文初江幹事を中心とした女性会員の皆様が心をこめて準備された持て成しに気持が和みました。公文幹事の開会に始まり小口会長挨拶、羽石ガバナー挨拶と続き、小口会長を中心に話が行われ登録料に関する件、青少年交換の輪番制の問題、退会防止、等についてご指導をいただきました。時間がすぎる中にお茶のサービスがあり、和やかな雰囲気の中に終始いたしました。その後1階アイリスホールに会場を移動し全員で記念撮影。15:30分より第586回例会が羽石ガバナー公式訪問として開会されました。バナーの交換、小口会長の歓迎の言葉、羽石ガバナーの卓話と進みましたが、パソコンとプロジェクターのセッティングで約20分のトラブルがありましたが、その後のディスカッションの調整により17:30分に終了いたしました。

18:00時より懇親会は（魚いち）に会場が移り、吉原一夫委員長の司会により羽石ガバナー小口会長を中心に懇親を深めました。会員31名中女性会員8名の、和やかで楽しい時間を過ごす事が出来ました。小口会長テーマ「内なるロータリーとともに、外なるロータリーへ」…他クラブとの交流を深め友情の輪を広げていただきたいと思います。大変ありがとうございました。

真岡ロータリークラブ 公式訪問

- 9月11日（木曜日）
- 会場：グランドホテル静風

第4グループガバナー補佐
上野徳浩



創立50周年の記念式典を11月16日にひかえて、活気ある真岡ロータリークラブの羽石光臣ガバナー公式訪問。岡本会長、辻幹事、福原副会長、広瀬副幹事、海老原情報委員長、飯田50周年実行委員長の皆様とガバナー随員片山幸志様、轟宗雄様、補佐事務局、鈴木定男、諸伏勇治が同席し、懇談会は辻幹事の開会の言葉に始まり、岡本会長より現況報告書について説明があり、それに対してガバナーよりご指導をいただきました。15時10分より羽石ガバナー入場により例会が始まり、岡本会長とのバナー交換、会長挨拶、ガバナー挨拶、卓話と続きました。ガバナーより一番に感じた事の話があり、スマイルの多いことに気がつかれ、（会員51名で2,163,650円）、スマイルが多いという事は活発なクラブだと思いますとおっしゃっていました。又3つの義務として、例会出席、会費、ロータリーの友について話され、大切な事として自治権・寛容の心・目的（綱領）についての話があり、ロータリアンとしての認識、魅力、クラブは常に新陳代謝に心がけ活性化されますようにと説かれました。遅くなりましたが岡本年度中に会員数55名に目標を定め活発な増強活動の中で、小島行雄様が入会されました事に対して敬意を表します。最後になりますが「温故創新」50周年を楽しもう、のスローガンのもとロータリー活動に情熱を注いで下さい。懇親会も楽しく有意義で、ありがとうございました。



日光ロータリークラブ 公式訪問

- 9月 18日（木曜日）
- 会場：日光金谷ホテル

第7グループガバナー補佐 三 品 一 男



「大きな石碑・四つのテスト」！！朱塗りの神橋その袂で見上げる太郎杉（推定樹齢 550年）を目尻に左へと折れる。木々の間を縫って石畳のスロープを駆け上がるとフロント左側には秋色を染め始めた庭園の木の葉が隠れに白文字で際立った石碑を見ることが出来る。

「四つのテスト」に自問自答！？しながらアップヒルを登り切ると日光 RCの例会場が在る。

金谷ホテルである。11:00大谷川を望む格好な部屋で予定通りの懇談会が開かれた。

訳有りの2年連投いただく佐藤和之会長の説明は(田)地元の子供と触れ合い次世代を担う若人に安全と健康を守る行動を！！(月)夢を実現する為に会員増強と出席の向上を！！(火)年頭に創立50周年を迎えた私達は先輩各位が50年前より灯し続けてくれた崇高な奉仕の理念の灯火を、更に輝かしめる為に本年も増して輝きたい。

野本晃也会長エレクト・大久保会計の発言が割り込む場面が有り日光クラブとして悩みは同じ様である。会員数28名平均年齢が67.18歳、増してや40歳未満の会員がいない事の深刻感を見た。佐藤会長の活動計画指標の援助要望に「クラブ維持についての指導をお願いします。」と熱いものを感じた。

12:25例会場に案内され着席すると香ばしいかおりと共にフルコースのランチが運ばれてシェフより料理の説明がなされ楽しい時が流れた（随行者：太城敏之 {宇都宮東RC} さんのスナップ写真を撮り歩くのが目にとまった。）

佐藤会長挨拶 原田スミ幹事報告の後、第2550地区G羽石光臣様より卓話を頂いた。野本晃也会長エレクトより丁寧なお礼の挨拶があった。

最後に、次年度第7グループガバナー補佐を選出いただいたクラブの皆様と、お務めいただく三ッ山一明様に宜しくお願い致しますと私より一言申し上げ散会となった。

馬頭小川ロータリークラブ 公式訪問

- 10月 1日（水曜日）
- 会場：南平台温泉ホテル

第2グループガバナー補佐 斎藤 友紀雄



「はい、はい、そこの人、あごを引いて！」私のことでした。「白相さん！前の人の間に立ってくれなきゃ」「前列の人、膝の上の手は親指を出して！」（まったくいつもも言ってるのに～ガバナーと私は初めてなのですが）南平台ホテル専属写真師から次々と繰り出される指示には、公式訪問がなごやかに進行しただけに緊張しました。でき上がった集合写真の写りはいかばかりでしたでしょうか。

スムーズな進行には理由があります。佐藤会長は今回が会長三度目、ガバナー補佐も経験済み、メンバーの多くがパスト会長です。江戸時代には水戸藩だったという県境の町。立地や会員数の少なさから、会員卓話中心になっちゃうと嘆く会長。そんな中、役者や猛者ぞろいの会員達が楽しみにしているのが、ガバナー公式訪問です。年に一度の晴れの日を楽しんでいるといった趣きです。ガバナーの話もおのずと密度があがり、中身の濃い訪問になりました。



閉会間際に宇都宮東クラブ随員員の若井会員が壇上に招かれました。聞けば経営不振に陥った町おこしのスーパーを救済したとのこと。恩義に答えるかの盛大な拍手に、友情と職業奉仕の心を感じ胸が熱くなりました。

氏家ロータリークラブ 公式訪問

- 10月9日（木曜日）
- 会場：ホテル清水荘内

第2グループガバナー補佐
齋藤 友紀雄



「ニコニコの多いクラブは、たいてい活気があるんですよ」ガバナーの一言が氏家クラブを象徴していました。高齢化に悩んだり、重鎮を欠いた若い会員が右往左往したり、中身は違ってもクラブの悩みは尽きません。そんな中、氏家クラブはなんだかうまく言えませんが、文武両道、才色兼備、バランスがとれています。

良く学び向上心溢れる五十才前後のメンバーが真田十勇士のごとくいます。知識と経験を持つ仙人風の長老達も元気です。全員の顔が見えると言われる三十人台のメンバー数。伝統のテーブルミーティングでの語らいが、会員としての自覚を培うのではないのでしょうか。

事前訪問でも、改革の気概溢れた多くの質問が出ました。卓話後、質疑に答えるガバナーも、なんだか楽しそうに見えました。これこそが訪問の醍醐味なののでしょうか。続いての懇親会、なごやかな中にもまだまだとばかり質問の手が続きます。なんとロータリー三昧まさに桃源郷かエルドラドです。

一步外にできれば現実がまっています。自分のクラブとの違いが、増水した鬼怒川のように広がっています。例会場では誰でもロータリアンになれるが、常日頃もロータリアンであり続けるためには、越えなければならぬ堰がまだまだあることを想いました。補佐という重要な任務遂行中の身ではありますが、私も日々勉強、そして勉強です。

鹿沼ロータリークラブ 公式訪問

- 10月16日（木曜日）
- 会場：福田屋鹿沼店内

第7グループガバナー補佐
三品 一男



「伝統ある鹿沼ロータリークラブの運営に襟を正して務めたい」第49第橋本伸一郎会長の待つ例会場は市街中心部に位置する百貨店の3階であり木曜日の昼時で買い物客と相まってロータリー会員が行き交う。エレベーター前に出迎えを受けて控え所に案内頂いた。

定刻（11:00）橋本会長の挨拶により懇談会が開かれた。現況報告書や「効果的な鹿沼ロータリークラブとなる為の活動計画の指標」に従い、会員数73名内女性会員1名平均年齢57.9歳パストガバナーの在籍する素敵なクラブでの懇談会は佐川会長エレクトの心配りもあり快活に進行された。

小休止の後（12:25）先導者に案内され公式訪問例会場に移り拍手に迎えられ、倉松SAAの司会により例会開催が告げられた。橋本会長よりお客様の紹介がなされた。公式訪問には稀な多くのゲスト（5名）のなかで特に目立ったのは元西武ライオンズ野球選手の蓬萊昭彦様であった。続く会長挨拶は橋本会長恒例の「今日は何の日」に始まり、それに擬えて羽石ガバナーの指導への感謝の意を表し、尚世界食料デー（今日10月16日）に因んで発展途上国の飢餓・医療などのWCSそれらの国際貢献へと意を新たにした。RI会長D.K.Lee



2550地区 G羽石光臣様のご指導をお願い致します。と締めくくった。プログラムでは蓬萊昭彦元プロの卓話があり、鹿沼ロータリークラブ活動での野球は名実共に躍進されており流石と感銘した。本日のメインプログラムである羽石ガバナー公式訪問卓話が始まると、橋本会長他役員は定席より移動して対面席に座し、パワーポイントのスクリーンに目をやりながら耳をかたむけていた。「ロータリーは常に進化している。」そう直感した今日のこの時に思いをこめて皆様にお礼を申し上げ閉会后記念写真を撮り散会となった。

鹿沼東ロータリークラブ 公式訪問

- 10月 29日（水曜日）
- 会場：鹿沼商工会議所

第 7グループガバナー補佐
三 品 一 男



「手をつなごう！」が合言葉。直前クラブ協議会（10月 15日）開催準備から始まった公式訪問行事に係る打ち合わせは、福田正和会長と谷原克忠幹事とのコンビネーションにより（手をつなごう！）のテーマを直感した。鹿沼東ロータリークラブの例会場は商工会議所内に在り、日常多くのロータリーメンバーが出入りしている。私も言わば「勝手知ったる！？」である。事前打合せ通り早めに指定された特別室に着くや丁重な挨拶で迎えられた。間も無く第 2550地区ガバナー羽石光臣様が随行員（小林利延様：宇都宮東 RC {元川上澄生美術館長}）に伴なわれ来場された。

11:00予定に順じて福田会長のもと懇談会が開かれた。[C.L.Pを導入して 3年掛かりで・基礎の策定・クラブに見合った進化策・私は積極的に活動の活性化と会員増強維持を図りたい]
そうした思いに対し羽石ガバナーより忌憚の無い助言がなされた。適切にメモなどで対処する谷原幹事と高橋副会長、又今後の活動計画に有っては＊市内在住の外国人を対象にした奉仕プロジェクト＊スポーツ少年団未加盟の競技団体育成・等に努めたいとの意欲が示された。懇談会は時間いっぱい効果的に話し合われた。午後、先導者に伴なわれて拍手の中へ順次着席後、福田会長の点鐘で公式訪問の幕開けとなった。冒頭福田会長の確固たる挨拶の後、クラブメンバーは元より羽石ガバナーも嬉しいであろう顔を綻ばせていた場面が思い浮かぶ、鈴木勤新会員のバッジの授与である。羽石ガバナーよりバッジを胸元に付けて頂いた鈴木さんは満面の笑みを浮かべていたのを！。

会員数 45名内女性会員 2名で 30歳代から 80歳代までバランスの取れた会員構成で、例会場のテーブルセッティングにも工夫が見受けられた。羽石ガバナーの卓話中も陽の光を遮るブラインドの調整にも配慮がなされ爽快感のある公式訪問になった。福田会長より丁重な卓話御礼の挨拶があったが、AGとしての私からも（感謝の心を拍手に込めて）有難う御座いました。会場玄関前にて会員思い思いにガバナーを囲んで記念写真を撮り散会となった。





真岡西ロータリークラブ 公式訪問

- 11月 4日（火曜日）
- 会場：グランドホテル静風

第4グループガバナー補佐
上野 徳 浩



創立 25周年目の日下田勝男会長・林純一幹事年度の羽石光臣ガバナー公式訪問が、庭園の美しいグランドホテル静風で開催されました。会長・幹事懇談会には役員、理事 6名、ガバナー随員 2名、補佐事務局 2名の皆様に出席していただき、現況報告書についてご指導をいただきました。交換学生受入輪番制についてはグループ内会長・幹事会で H17年 12月 17日決定されている事に対し、無視されております事を、ガバナーより地区内 50クラブで編成されるような可能性に対して助言を申し入れ、又高校生の職場体験受入事業場として会員事業場に協力を広めてもらう交流が深まれば、グループ内でインターアクトクラブ提唱の気運が出てくるのではないかと（今年度は難しい）等、有意義な懇談会でありました。

次に第 1123回例会は 15時 30分羽石ガバナー入場、日下田会長の歓迎挨拶、羽石ガバナー紹介がありましたが、自ら卓話の中で自己紹介をされました。入会は 29年前の 1979年、アメリカと中国が国交回復をした年でした。又、故斎藤吾一様が初めて就任、次に辻由兵衛 P.G.に続いて 3人目になり、職業分類は科学機器販売等々細かく紹介され、その人となりが良くわかりました。ロータリーを通して、世の中に素晴らしい「ロータリーの心」の種を、入会された方にすぐに蒔かなければならないと思いますと最後に話されました。卓話が終わってディスカッションがあり 18: 00時より懇親会、心を開き楽しい時間がすぎました。最後に全員が輪になり、手に手つないでの大合唱で終わりました。

益子ロータリークラブ 公式訪問

- 11月 5日（水曜日）
- 会場：益子カントリークラブ

第4グループガバナー補佐
上野 徳 浩



第 4グループ最後の公式訪問が快晴に恵まれた大自然の中にあります益子カントリークラブ・ハウス内例会場に羽石光臣ガバナー一行をお迎えして平野会長をはじめ役員理事の出席のもと開催されました。ガバナーとの懇談会は平野会長より現況報告書の説明に続いてガバナーより諸々のご指導をいただきまして 12時までに終了しました。その後全員がクラブ・ハウス正面玄関前に集り羽石ガバナー、平野会長を中心に記念撮影があり、12時 30分より羽石ガバナー公式訪問第 1427回例会が開催されました。平野会長より歓迎あいさつがあり昼食をはさんで、ガバナー卓話になりました。1905年、ポールハリスの 2つの目的「友情を深め・商売を発展させる」等、ロータリーの原点の話に始まり、シェルドンの職業奉仕の考え、会社の繁栄なくして奉仕も寄付もできません、「最も奉仕する者、最も多く報われる」というロータリーの心について、説明されましたが、第 4グループ、4クラブの公式訪問の中で基本であるロータリーの倫理・理念について心に残るお話が多く、大きな学びでありました。

宇都宮陽南ロータリークラブ 公式訪問

- 11月 6日（木曜日）
- 会場：ホテルニューイタヤ

第3グループBガバナー補佐
野口 忠 男



11月 6日（木）宇都宮陽南 RCへのガバナー公式訪問がおこなわれました。11時より西根恵子会長、中村勝幹事、竹石昭厚会長エレクトを交え、懇談が行われました。ガバナーより現況報告書についていくつかの指導がありました。本年度 18名の会員で出発したクラブですが、現在 7名の会員増強が達成され、25名で構成されています。会員の平均年齢が 53才と若く非常に活発なクラブです。社会奉仕、国際奉仕にも意欲的で多くの奉仕活動を計画、実施しています。例えば「子ども発達センター」への支援活動、栃木養護学校ひばり分教室、県立がんセンターボランティア図書部こだまの会などへの支援、など。

国際奉仕では、バリ島タモン RCという女性だけで構成している RCと交流があり、「バリ島の里親」奨学金や学用品の寄贈なども行っています。米山奨学生の受け入れも多く、14年間に 11人の受け入れをしています。

ガバナーのお話は、ロータリーの基本的な考え哲学など分かりやすく話され、特に若い会員には参考になる事も多かったと思います。

活発な奉仕活動を通じて、このクラブが益々活性化し発展していく事を期待しガバナー公式訪問の報告と致します。

宇都宮南ロータリークラブ 公式訪問

- 11月 12日（水曜日）
- 会場：ホテルニューイタヤ

第3グループBガバナー補佐
野口 忠 男



11月 12日（水）宇都宮南 RCへガバナー公式訪問が行われました。

まず、11時から鈴木秀明会長、田中正夫幹事、高久和男副会長を交えガバナーとの懇談会が行われました。宇都宮南 RCは会員数 57名から現在 59名と 2名の純増をしています。

創立から 26年を経て、落ち着いた良い雰囲気のあるクラブであると、鈴木会長は話されています。スマイルの文で面白いものにスマイル大賞を出している事や、年間のスマイルの文をまとめて文書にしているとの事。インターアクトクラブ設立を考えているが、色々難しい事もあり難航しているとの事。ガバナーからも是非成功させて欲しいと要望あり。本年度第 3グループの IMを南クラブが担当しているが、IM以外に 9クラブがまとまった活動が出来ないものかという意見も出ました。例会でのガバナーのお話はロータリーの基本的な考えや東洋の思想についても触れて、ロータリーを改めて考える機会になったのではと思われます。多くの人材を持つこのクラブが益々の発展することを期待し報告とします。



地区大会のご案内

RI会長代理未定(2009.1.20現在)

※決定次第、次号に掲載します。

4/26日 地区大会本会議

栃木県教育会館

- 9 00 登録開始
オープニングイベント
RI会長代理入場
- 9 30 点鐘
国歌斉唱・ロータリーソング四つのテスト
物故者黙祷
開会の言葉
歓迎の言葉
RI会長代理紹介
来賓紹介
地区外参加クラブ紹介
地区内クラブ紹介
ガバナー挨拶並びに地区現況報告
RI会長代理挨拶並びにRI現況報告
来賓祝辞

大会委員会報告並びに上程

選挙管理委員会
資格審査委員会
登録委員会
決議委員会

大会決議採択
記念事業目録贈呈
祝電披露

GSI紹介

12 15 諸事お知らせ

昼食・休憩

13 00 記念演奏会

休 憩

14 20 招待学生紹介

各種表彰

ガバナーエレクト・ノミネー紹介

ガバナーエレクト挨拶

ガバナーノミネー挨拶

大会を顧みて

次期地区大会ホストクラブ挨拶

地区旗の引継ぎ

ガバナー謝辞

閉会の言葉

17 00 点鐘

ロータリーソング「手に手つないで」

4/24金 記念ゴルフ大会

ロイヤルカントリークラブ

4/25土 記念ジュニアゴルフ大会

ロイヤルカントリークラブ

4/25土 RI会長代理歓迎晩餐会

ホテルニューイタヤ

■ 17:00/登録 17:30/開宴

■ 歓迎晩餐会/アトラクション

子供和太鼓/和太鼓キッズゆりかご

【ごあいさつ】

今年度のテーマは「夢をかたちに」です。それを現実にするため「子供達に夢を」を目標に、私達ロータリアンは日々、子供達に目を向けて行きましょう。

地区大会は、ロータリアン同志、熱く語り合う絶好の場です。多くの皆様のご参加を心よりお願い申し上げます。

2008-2009年度

ガバナー 羽 石 光 臣

地区大会実行委員長

八 城 光 男

ホスト/宇都宮東ロータリークラブ



Rotary
International
District 2550

記念演奏会

宇都宮ジュニアオーケストラ



【プロフィール】

当団は小学生から大学生までの団員と、ボランティアの指導者とは仲良く活動する、大家族のようなオーケストラです。



米山記念奨学会・財団 表彰

米山功労者一覧表

2008年 10月～11月分

※ 2以上はマルチプル、10以上はメジャードナー

足利わたらせ RC	横山幸広	第1回
今市きぬ RC	三浦宏一	第4回 (マルチプル)
今市きぬ RC	湯浅有二	第2回 (マルチプル)
栃木西 RC	狐塚育男	第2回 (マルチプル)
栃木西 RC	中村和男	第2回 (マルチプル)
宇都宮東 RC	太田照男	第15回 (メジャードナー)
宇都宮東 RC	太田照男	第16回 (メジャードナー)
宇都宮東 RC	太田照男	第17回 (メジャードナー)
栗野西方 RC	小島正男	第4回 (マルチプル)
今市 RC	廣瀬弘	第1回
鹿沼東 RC	美野輪之知	第3回 (マルチプル)
鹿沼東 RC	大島村繁	第1回
鹿沼東 RC	大吉村昌一	第2回 (マルチプル)
黒磯 RC	荒井昌一	第3回 (マルチプル)
黒磯 RC	秋間紀夫	第3回 (マルチプル)
黒磯 RC	瀬尾輝一	第3回 (マルチプル)
黒磯 RC	鳥居洋子	第2回 (マルチプル)
真岡西 RC	桜井洋子	第2回 (マルチプル)
真岡西 RC	桜井勝彦	第3回 (マルチプル)
小山 RC	石塚覚二	第5回 (マルチプル)
小山 RC	杉田一典	第4回 (マルチプル)
小山 RC	鈴木隆作	第3回 (マルチプル)
小山 RC	田川宗定	第5回 (マルチプル)
小山 RC	館野敏男	第3回 (マルチプル)
小山 RC	館野敏男	第4回 (マルチプル)
栃木南 RC	福島一利	第1回
栃木南 RC	熊倉明安	第2回 (マルチプル)
栃木南 RC	須田功幸	第3回 (マルチプル)
栃木南 RC	館野英幸	第1回
宇都宮東 RC	旭木義友	第4回 (マルチプル)
宇都宮西 RC	稲森玄房	第6回 (マルチプル)
宇都宮西 RC	森田光憲	第8回 (マルチプル)
宇都宮西 RC	恩田茂夫	第8回 (マルチプル)
宇都宮西 RC	塩濱宏明	第4回 (マルチプル)
宇都宮西 RC	横松俊一	第4回 (マルチプル)
宇都宮陽南 RC	青島俊一	第7回 (マルチプル)
宇都宮陽南 RC	青島俊一	第8回 (マルチプル)
宇都宮陽南 RC	青島俊一	第9回 (マルチプル)
宇都宮陽南 RC	青島恵子	第3回 (マルチプル)
宇都宮陽南 RC	大塚俊男	第3回 (マルチプル)

米山功労クラブ

2008年 10月～11月分

足利わたらせ RC	第10回
今市きぬ RC	第14回
鹿沼東 RC	第20回
小山 RC	第24回
宇都宮 RC	第33回
宇都宮陽南 RC	第5回

ロータリー財団

2008年 10月～11月分

(ポール・ハリス・フェロー)

宇都宮 90RC	高田光子
鹿沼 RC	船生雅秀
鹿沼 RC	金子昭彦
鹿沼 RC	神山勝利
黒磯 RC	石山桂子
黒磯 RC	澤田吉夫
小山東 RC	石崎雅英
今市きぬ RC	大門金一郎

(マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)

足利東 RC	真尾和夫	4
宇都宮 90RC	保坂正裕	1
宇都宮 90RC	小林恒夫	1
宇都宮 90RC	梅園明	2
足利東 RC	提箸克之	2
鹿沼 RC	小林一彦	3
鹿沼 RC	橋本伸一郎	2
足利わたらせ RC	植木文夫	1
今市きぬ RC	樋山順一	2
今市きぬ RC	三浦宏一	2

(ベネファクター)

黒磯 RC	佐藤博
-------	-----





(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ハイライトよねやま 107号★ 2009年 1月 14日発行

— 今月のトピックス —

1. 寄付金速報 — 当会始まって以来の大口寄付で前年同期比増 —
2. 「後が続いてほしい」 — ロータリアンから1億円の寄付! —
3. 台湾学友会総会開催 — 前故宮博物院院長の林曼麗さんが講演—
4. ガバナーエレクト/次期米山記念奨学委員長 合同セミナー
5. 地区ロータリアンがベトナムで奨学生を採用 — 第 2590地区 —

【お知らせ】確定申告用領収書の発送について

1 寄付金速報

— 当会始まって以来の大口寄付で前年同期比増 —

12月までの寄付金は、前年同期と比べて 8.43%増、約 7,380万円増加となりました。普通寄付金が 0.01%減、特別寄付金が 11.38%増と大幅な増加へと転じました。これは、当会始まって以来となる 1億円もの大口寄付をいただいたためです。

※詳細は次項

なお、12月 26日付で、「2008年度下期普通寄付のお願い」を各クラブ宛にお送りしています。普通寄付金は寄付行為に定められているように、全ロータリアンからクラブを通じて定期的にいただくご寄付です。当会事業の安定財源となっていますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

2 「後が続いてほしい」

— ロータリアンから1億円の寄付! —

昨年 12月半ば、名古屋名東RC会員の坂本精志氏より 1億円のご寄付を頂きました。経営するホシザキ電機株式会社（本社：愛知県豊明市）の上場にあたり、氏は株の売却益の一部を日頃から関心を寄せる団体に寄付。その一つに米山奨学会を選ばれました。

坂本氏はこれまで米山奨学生のカウンセラーを二度務められたほか、博士課程に進学した学友を援助するなど、外国人留学生の支援に熱心に取り組んでこられました。創業者であり、ロータリアンであった父の薫俊氏（故人）が、出身

地の島根で進学困難な学生を支援していたことや、ご自身もロータリアンとして、勉学に勤しむ外国人留学生と関わる体験を得て、米山記念奨学事業への関心を深めたと言います。「米山は、経費も最小限に抑えているし、多くの人がボランティアで熱心に事業を行っている。また、資金を投機に回さず、地道に使っていることも好ましい。上場を機に、おすそ分けの気持ちで寄付しました」と坂本氏。本来は匿名で寄付したいと、今回も含めてこれまで表彰品はすべて辞退されていますが、「後が続く人が出てほしい」とのお気持ちから、今回記事として紹介することをご了解いただきました。

3 台湾学友会総会開催

— 前故宮博物院院長の林曼麗さんが講演—

台湾米山学友会（（社）中華民国扶輪米山会）の年次大会が 12月 13日、台北市内で開かれ、当会からは板橋敏雄理事長と坂下博康事務局長が出席しました。今回は来賓として、交流協会台北事務所代表の齋藤正樹氏、また、前故宮博物院院長で米山学友の林曼麗（りんまんれい）さん（1981-83年／東京大学大学院／東京保谷RC）が出席し、それぞれ講演を行いました。林さんは在任中、同博物院の改革を成し遂げ、日本のマスコミにも何度も取り上げられた人物。「美感と創新」と題した講演では、伝統文化を学ぶ場から、新しい価値を創造する場へと生まれ変わった故宮博物院の魅力を 45分間にわたって紹介しました。

当日は、新たに入会した学友全員に、板橋理



事長自ら会員バッジをつけ、激励しました。同学友会の阮允恭理事長は、あいさつの中で、「米山OBは一つの家族。米山記念奨学会のおかげで奨学金の恵みを受け、また異なる大学、異なる世代の留学生がこうしてお互いに感謝の気持ちを忘れずに恩返ししようという絆ができた。米山の絆に改めて感謝するとともに、その絆を永久に大事にしましょう」と語りました。

4 ガバナーエレクト／次期米山記念奨学委員長 合同セミナー

全国 34地区のガバナーエレクトと、09-10年度地区米山記念奨学委員長を対象とする合同セミナーが昨年 12月 8日に都内で開催され、米山記念奨学事業への理解を深めていただくとともに、地区における積極的な推進が呼びかけられました。

ガバナーエレクトと地区米山記念奨学委員長との合同セミナーは今年で 5回目。午前の部は、板橋理事長の挨拶につづき、元 R I 理事であり、ロータリー財団管理委員を務める田中作次氏の基調講演、第 2750地区米山記念奨学委員長・関博子氏による「魅力ある地区での奨学事業推進」と題した講演などが行われました。

午後の部は、奨学生と学友の卓話で始まりしました。現役奨学生の何京玉（か きょうぎょく）さん（中国／広島東南 RC）は、「かつて教師だった父親が、教え子のために自分たちの貧しい食事を分け与える行為が理解できなかったが、ロータリアンの姿を見て父親の真意を理解するとともに、自分もまた、他者のために生きたいと願うようになった」と話し、会場に大きな感動を呼びました。また、米山学友・陳思乾（チン・シチャン）さん（台湾／大阪淀川 RC）は、35年前の思い出話を交えながら、台北東海 RC のチャーターメンバーとなった経緯や、台湾の米山学友が結集して設立した「中華民國扶輪米山会」の活動を報告し、「奨学金のおかげでロータリーや米山梅吉翁の奉仕の精神を学ぶことができ、その結果として私自身もロータリアンとなり、意義ある人生の生き方を見つけることができた。この幸せを周囲の人、特に若い米山奨学生たちに、

是非伝えていきたい」と熱意を込めて語りました。

全員が一堂に会したフォーラムでは、「もっと身近に感じる奨学事業推進とは」をテーマに、田村亮夫広報委員長がガバナーの指導力の重要性を、近藤雅臣常務理事が現地採用奨学金の現状を、渡辺喜代美地区米山記念奨学委員長が前年度比 20%増達成の秘訣を披露し、会場との質疑応答も活発に行われました。

5 地区ロータリアンがベトナムで奨学生を採用 ー 第 2590地区 ー

経済的な理由から来日することができない優秀な人材を海外で発掘し、日本に招へいして支援する米山記念奨学金のプログラム「現地採用奨学金」。試行 3年目となる今回は、事前に決定した受け入れ地区（第 2590地区・神奈川県）からロータリアンが現地へ出向き、面接官として選考に参加しました。

地区を代表してベトナムへ向かったのは、清水良夫ガバナーと地区米山記念奨学委員長・鈴木憲治氏の両氏。昨年 12月 18日に面接を行い、10人の候補者から 2人の合格者を決定しました。清水氏は「現地の教育事情や生活レベルを理解することができた」と、実際に足を運ぶことの意義を強調し、鈴木氏も「地区の皆さんに胸を張って紹介できる人材を選ぶことができた」と話しています。合格者 2人は、今年 10月に来日する予定です。

※この記事は『ロータリーの友』1月号“よねやまだより”にも掲載しています

【お 知 ら せ】

昨年 1年間（1～ 12月）で 5,000円以上の特別寄付をされた方には、1月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。

【 財団法人ロータリー米山記念奨学会 】

事務局長 ／ 坂下博康
編集担当 ／ 野津・峯・大庭

■ TEL: 03-3434-8681 FAX: 03-3578-8281
■ 問い合わせメール: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
■ 米山記念奨学会ホームページ: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



第 2550地区 新入会員

なか だ しん すけ
仲 田 真 介
（宇都宮陽北 RO）
有限会社仲田技建 専務取締役
入会年月日 平成 20年 10月 1日
今後ともよろしくお願いいたします。

やま ぐち あき ひこ
山 口 明 彦
（宇都宮 RO）
パナソニック株式会社関東支店 支店長
入会年月日 平成 20年 12月 18日

こ ぐれ みち あき
古 暮 通 明
（足利西 RO）
未来交通 代表
入会年月日 平成 21年 1月 1日
宜しく願い致します。

きぬ た ただし
絹 田 匡
（宇都宮陽南 RO）
岡部バルブ工業 宇都宮支店長
入会年月日 平成 21年 1月 8日
何も解らないので、ご指導の程よろしくお願いいたします。

物 故 会 員

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

みず ぐち よし お
水 口 好 夫
享年 6歳
（田沼 RO）
物故 平成 20年 11月 7日

の ざわ しず お
野 澤 静 男
享年 63歳
（西那須野 RO）
物故 平成 20年 12月 18日

■ロータリー歴

1998～ 1999 クラブ会報委員長
2000～ 2001 国際奉仕委員長
2003～ 2004 社会奉仕委員長
2005～ 2006 職業奉仕委員長
2007～ 2008 情報委員長

■財団、米山記念奨学会などの寄付歴

2006～ 2007 MY3FP



文庫通信

256号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして 1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報源

■「ロータリー入門書 2008～2009年度版」 前原勝樹 重田政信 2008 195p

〔申込先：北斗企画 TEL(03) 3811-4350〕

■「ロータリー情報集」 熊本グリーンR.C. 2008 388p

〔申込先：熊本グリーンR.C. TEL(096) 354-4521〕

■「ROTARY世界と日本」 ロータリーの友 2008 15p

〔申込先：ロータリーの友 TEL(03) 3436-6651〕

■「素晴らしい出逢い よき師、よき友は人生の宝(目)」 戸田孝 2006 207p

〔申込先：八尾R.C. TEL(072) 991-2129〕

■「純ちゃんのコーナー(ロータリー 3分間情報) Part 」 深川純一 2008 32p

〔申込先：伊丹R.C. TEL(072) 773-1375〕

■「ロータリー・リーダーシップ研究会(RLD)」 成川守彦 2008 4p(D.2640月信)

■「職業奉仕はロータリーの原点!!」 道下俊一 2008 5p(D.2500月信)

■「職業奉仕と出前授業」 畑田耕一 2008 3p(D.2660月信)

■「職業奉仕について(ガバナーメッセージ)」 勝野露観 2008 3p(D.2640月信)

■「ロータリーの職業倫理訓逐条解説(1)～(6)」 青木伸翁 2008 6p(D.2770月信 7-12月)

〔上記申込先：ロータリー文庫(コピー／PDF)〕

【 ロータリー文庫 】

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
TEL(03) 3433-6456 FAX(03) 3459-7506【 <http://www.rotary-bunko.gr.jp> 】
開館 = 午前10時～午後5時 / 休館 = 土・日・祝祭日

【 国際ロータリー第 2550地区 12月会員増強・出席報告 】

区 分	クラブ名	出席率			会 員 数							
		例回数	今 月	平 均	月 旧	今 月	入 会	退 会	通算増	通算減	増 減	内女性 会 員
第1グループ	大 田 原	4	84.54	85.27	44	43	0	1	0	1	－1	2
	黒 磯	4	95.00	98.17	45	46	0	0	1	0	1	2
	西 那 須 野	3	97.73	96.98	48	43	0	4	1	6	－5	0
	黒 羽	4	95.83	96.29	17	17	0	1	1	1	0	1
	那 須	4	71.42	76.05	18	21	0	0	4	1	3	2
	塩 原	4	72.50	80.42	10	10	0	0	0	0	0	0
	大 田 原 中 央	4	87.50	77.43	20	20	0	0	1	1	0	1
第2グループ	烏 山	3	85.78	84.54	17	16	0	0	0	1	－1	1
	氏 家	3	80.95	80.51	32	32	0	0	0	0	0	0
	矢 板	3	71.60	84.85	32	32	0	0	0	0	0	5
	馬 頭 小 川	4	84.10	87.85	21	21	0	1	1	1	0	0
	高 根 沢	4	88.00	80.70	19	18	0	0	0	1	－1	0
第3グループA	宇 都 宮	3	71.70	72.08	94	99	1	2	9	4	5	0
	宇 都 宮 西	3	82.48	86.61	61	63	0	0	2	0	2	0
	宇 都 宮 北	4	86.58	77.53	57	55	0	1	0	2	－2	0
	宇 都 宮 9 0	4	77.00	82.74	38	38	0	0	0	0	0	4
	宇 都 宮 陽 北	3	95.24	89.33	35	37	0	1	4	2	2	5
第3グループB	宇 都 宮 東	3	92.58	94.22	98	100	0	1	4	2	2	0
	宇 都 宮 南	4	70.67	72.70	56	57	0	0	1	0	1	0
	宇 都 宮 陽 東	3	69.50	73.62	44	46	0	0	2	0	2	1
	宇 都 宮 陽 南	4	71.88	75.95	18	24	0	1	7	1	6	4
第4グループ	真 岡	4	94.08	93.60	51	51	0	1	1	1	0	0
	益 子	4	89.20	90.00	34	34	0	0	0	0	0	0
	真 岡 西	3	98.48	95.56	47	45	0	2	0	2	－2	9
	し も つ け	4	90.20	90.57	31	31	0	0	0	0	0	8
第5グループ	小 山	4	84.60	89.13	47	48	1	1	3	2	1	0
	小 山 南	4	100.00	99.07	18	19	0	0	1	0	1	2
	小 山 東	3	92.59	93.22	35	36	0	0	1	0	1	0
	小 山 北	4	83.00	79.63	25	27	0	0	2	0	2	0
	小 山 中 央	4	70.00	75.43	24	24	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃 木	4	83.40	81.17	48	48	0	0	0	0	0	0
	栃 木 西	3	81.98	83.10	42	42	0	0	0	0	0	0
	壬 生	4	79.76	78.70	21	21	0	0	0	0	0	2
	栃 木 南	3	92.00	90.93	34	34	0	0	0	0	0	5
第7グループ	日 光	3	92.62	80.45	28	27	0	0	0	1	－1	5
	鹿 沼	3	92.69	92.41	72	69	0	4	1	4	－3	1
	今 市	4	91.86	91.51	43	43	0	0	1	1	0	0
	鹿 沼 東	5	96.67	96.06	44	44	0	0	1	1	0	2
	粟 野 西 方	3	95.00	90.65	14	14	0	0	0	0	0	1
	鹿 沼 中 央	3	82.71	75.77	27	27	0	1	1	1	0	2
	今 市 き ぬ	3	90.00	93.05	28	30	0	0	2	0	2	1
第8グループ	足 利	4	72.45	73.37	46	48	0	1	4	2	2	0
	足 利 東	3	70.08	74.08	58	55	0	3	0	3	－3	8
	足 利 西	4	73.80	74.70	14	14	0	0	0	0	0	0
	足 利 わ た ら せ	4	90.63	95.91	32	33	0	0	1	0	1	0
第9グループ	佐 野	3	87.79	89.08	53	57	1	0	4	0	4	0
	葛 生	3	87.50	90.70	39	39	0	0	0	0	0	0
	田 沼	4	96.92	92.71	34	34	0	0	1	1	0	0
	佐 野 東	4	77.17	80.80	23	23	0	0	0	0	0	0
	岩 舟	4	87.80	86.87	25	24	0	0	0	1	－1	1
	5 0 R C		85.15	85.44	1861	1879	3	26	62	44	18	76